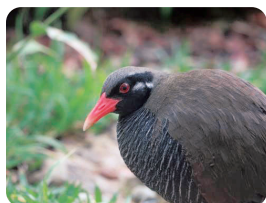


07



「オキナワイキモノラボ」サイトより：
沖縄県環境部自然保護課

国内でも有数の多様な命を育む 自然環境がある沖縄の森林

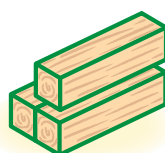
周りを海に囲まれている沖縄は、一年を通して暖かく、湿度が高いのが特徴です。こうした気候のおかげで、沖縄の森林にはたくさんの種類の生き物が棲んでいます。沖縄の中でも、豊かな森林がある沖縄本島北部の「やんばる」地域と西表島は、日本の中でも特に多くの貴重な生き物がいることが確認されています。生き物が育ちやすい環境のためには、若い木も樹齢の高い木も、さまざまな自然環境があることが大切。人の手を加えずに守る森林と、木材をとるための森林を分けています。



08

森の恵みである 木材を提供する

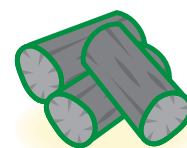
森林の恵みである木材は、建物や家具など人間の生活に必要な材料として利用されます。近年では、曲がった樹木や、木材を製造した後に残った切れ端なども細かくくだいて、キノコ栽培の菌床や牛や豚などの畜舎の敷材として利用しています。森林からの恵みである木材を今後も使い続けられるようにするためには、樹木が育つまでの長いサイクルを考え、切った後は植え、育てていくことが大切です。



木材



キノコ



もくたん
木炭



09

森林を守り、育て、木材を活用する 沖繩の森林の循環利用

沖繩の豊かな森林を守り、適切に木材を活用するためには、森林の手入れをきちんとする必要があります。木々の成長のために、太陽の光が届くように下草を刈ったり間引きしたりするほか、大きく育った木は切って活用し、そこへまた新たな

苗を植えて育てます。森林が循環できるように利用することが新たな木材を生み、その恵みを受けながら森林を次世代に受け継ぐことにもつながります。



森林の恵みである木材を使う



けんちくぶつ
木造建築物



家具



食器



ちくさんしきざい
畜産敷材



きんしろう
キノコの菌床

琉球王国

- 14世紀前後 森林のほとんどが天然林
- 1628年 「総山奉行」¹設置
- 1662年 たき木需要増える
- 1712年 首里城再建本格化
- 1737年 杉山制度導入
- 1879年 沖縄県誕生

首里城は1660年、1709年と二度、全焼した歴史があり、木材需要を大きく高める原因のひとつとなりました。首里城は1715年に再建しています。

三司官の蔡温が森林保護と造林計画を目的に制定し、むやみに伐採しないよう、徹底的な森林管理を始めました。

明治

- 1885年 林政八書²刊行
- 1897年 森林法公布（～1951年）
- 1906年 杉山処分実施（～1908年）
- 1910年 造林事業開始

環境を守るために、荒れた私有林を監督することを目的とした「森林法」が公布、施行されました。これは1951年まで続きました。

蔡温が制定した杉山制度が崩れ、森林の荒廃が進みました。

昭和

- 1945年 森林の荒廃激化
- 1951年 旧森林法全面改正
- 1974年 沖縄北部森林組合設立
- 1977年 八重山森林組合設立
- 1980年 沖縄県森林組合連合会設立
- 1984年 国頭村森林組合設立

第二次世界大戦終戦。戦後の復興のため、建築材や薪炭材として木材需要が急増し、伐採が行われたことで森林の荒廃が進みました。

森林には色んなことがあったんだね



主な目的を、木材を生産することから、森林のさまざまな役割を持つ統一的に発揮することへと転換しました。

希少動物が多く棲むやんばるの森林と林業の両立のため、環境のことを考えた森林利用方法が決定しました。

やんばるの森林は2016年に国立公園に指定、その後生物多様性が認められ、西表島とともに世界自然遺産に登録されました。

平成

- 1995年 宮古森林組合設立
- 2001年 森林・林業基本法改正
- 2013年 「やんばる型新林業の推進～環境に配慮した森林利用の構築を目指して～施策方針」決定

令和

- 2021年 沖縄島北部及び西表島世界自然遺産登録

*1 総山奉行：山林を管理・監督する役 *2 林政八書：森林に関する法令・文書を沖縄県がまとめたもの

10 再生を繰り返してきた 沖縄の森林

人々の生活を支えるために、沖縄の森林は木をたくさん切り倒しては荒れ果て、再生するという歴史を繰り返してきました。琉球王国時代、木材はお寺や神社、船や住居などを作るために使われたほか、黒糖や焼き物、日々の食事作りの燃料として薪が多く必要とされていました。その後、1600～1700年代になると、首里城が全焼したり、人口が増えたことで木材が不足し始めます。この時、現在の森林管理につながる制度を

作ったのが、三司官（宰相）の蔡温でした。琉球王国から沖縄県に移り変わると、政府の指示で森林の伐採が進みます。そして昭和の時代は、戦争のための物資として、また戦後の復興のために、木々がたくさん伐採されました。戦後の混乱が落ち着くと、こうして荒れ果てた森林を再生させようと、琉球政府が植林に取り組み始め、沖縄県民や森林組合の努力のおかげで、現在の充実した森林になりました。

ワークシート

01.

森林が生活の中で役立っていると感じたことを
その理由も一緒に書いてみましょう。

02.

「森林の循環利用」とはどのようなことか
まとめてみましょう。

03.

沖縄の森林の歴史で、もっとも興味深かった
点を挙げてください。